



「差別について」町内の子どもたちで考える時間

「第40回部落差別をはじめあらゆる差別をなくす大津町児童生徒集会」が10月28日に大津北中学校の体育館で開催されました。

これは、一人の小学生の「部落差別をなくしたい」という訴えから始まり、40年以上にわたって、町の小中学生が中心となり続けている、差別をなくすための集会です。

当日は町内小中学校から約1,000人が集まり、差別について考え、集会の最後には「宣言文」を採択し、差別をなくす誓いを改めて立てていました。以下に採択された宣言文を原文のまま掲載しています。児童生徒らが自ら考えた宣言です。この宣言文を読んで、皆さんも差別について考えてみませんか？



第40回部落差別をはじめあらゆる差別をなくす大津町児童生徒集会 【宣言文】

第1回の児童生徒集会では、小学生が「自分は部落出身だ。部落差別をなくしたい。」と勇気を出して訴えました。当時の部落差別の状況は、ひどく耐えがたいものでした。

それから40年ほどの年月が経っています。完全になくすことはできていませんが、行動を起こし続けてきた先輩達の取り組みで、あからさまな部落差別は少なくなってきました。

そして私たちも、昨年の集会から少しずつ意識が変わってきたと思います。

しかし、全体で見ると、行動にうつすことができていない人は多くはありません。だからこそ、それぞれみんなが行動することができれば、部落差別をはじめあらゆる差別やいじめをなくすことができるはずです。

あなたの周りでは、このようなことはありませんか。

- ・人のイヤがることをしたり、陰口を言ったりする
- ・おかしい理由で水道を区別する
- ・イヤなことをされても笑ってごまかす
- ・イヤなことをされたくなくて一人でいる

どうしてこんなことが起きるのでしょうか。

- ・一人になるのが怖い
- ・だめだと分かっているけど、周りの人の反応が怖いからそうしかできない
- ・共通の人をいじめれば仲良くなれると勘違いしている

それは、周りの人のことを信頼していないし自分の事も信じていない、ということだと思います。また、そのようなことに気づいていても、何もできていない人もいます。

あなたは今、どの位置に立っていますか。

- ・差別をしている人
- ・差別を受けている人
- ・差別に気づいていない人
- ・差別に気づいているけれど何もしていない人
- ・人のイヤがることをしてなにかを作ろうとする人
- ・自分が受けている差別と闘う人
- ・差別をなくそうと行動している人

自分がどの位置に立っているのかが分かれば、何をすべきなのが見えてきませんか。

私たちは人に支えられて生きています。みんなで支え合うことで、一人ではできなかった差別やいじめをなくす行動に、一歩を踏み出せるはずです。今一番変わらなくてはいけないのは、自分です。誰かが変わるのを待つのではなく、自分から行動し、差別やいじめに立ち向かうなかまになりましょう。

「私たちは、自分から変わり、差別をなくす行動をしていきます。」

- 私たちは、自分の思いを身近な人から伝え合います。
- 私たちは、共に闘うなかまをつくります。
- 私たちは、一人一人対等に向かい合います。
- 私たちは、人権学習を通し、話し合った事を身近な人から広げていきます。

2017年10月28日

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす大津町児童生徒集会参加者一同

大津町児童生徒集会を終えて

ここで終わらせず、
取り組みを広げたい



大津北中学校3年生徒会長
たけすえこうすけ
武居航佑さん(美咲野)

私たち大津北中学校の生徒会役員は今年、集会の運営と集会宣言文の作成をしました。宣言文では「差別をなくす」を目標に、自分たちの立ち位置に気づき、何をしていくべきかを具体的に考え、課題解決のために活用しやすい文になるように工夫しました。人権啓発福祉センターの皆さんや先生とも議論をしながら「差別をなくす行動をしていく」という思いが十分に込められたと思います。当日は、約1,000人の参加者が差別のことについて考える時間となりました。ここで終わりにすることなく、仲間と助け合いながら、いじめや差別をなくしていくための取り組みを広げていきたいと思っています。



CAROLING !!

クリスマス、これも私の大好きな時間の一つです。アメリカでは、クリスマス・ツリーや暖炉など、家を盛大に飾りつけます。そして、暖炉の近くに靴下をつるして準備し、サンタ・クロースが来るのを待ちます。

しかし、日本では少し様子が違い、熊本ではあまり雪が降らないので、「ホワイト・クリスマス」となることは中々無さそうですね。そして、煙突がある家もそうありませんので、有名なクリスマス・ソングの「Up on the Housetop (屋根の上で)」の趣もちょっと違ってきますね。

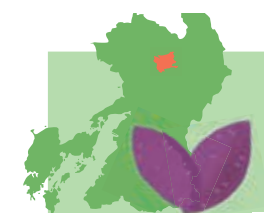
また、クリスマスは非常に多くの音楽に溢れていて、私にとっては、非常に楽しい時間です。クリスマスにはおなじみの曲が沢山ありますが、さらに毎年、いろいろな歌手が新しい曲をリリースします。

そんな音楽に溢れているクリスマスですが、中でも、私は、特にキャロリングが大好きです。キャロルとは、元々広く歌を意味していましたが、今日のアメリカでは、キリスト教での讃美歌や聖歌の事を言い、みんなで集まって歌う事を、キャロリングと言います。キャロリングでは、救い主の誕生を祝福する、キリスト教の宗教的意味合いのある曲が多いのですが、世界中で翻訳されており、大勢と一緒に歌う事はとても楽しいものです。熊本でも参加できるようなので、あなたも友だちと一緒に、ぜひ参加してみてください。

クリスマス、年末年始、すべての人に愛と平和がありますように！



クリスマスを楽しんで



わたしたち

大津町地域おこし協力隊 です



町で活躍する大津町地域おこし協力隊の活動をお知らせします。今月は齋藤剛司さん(写真右)。

皆さん、こんにちは。早いもので壁のカレンダーも残り1枚となってしまいましたね。

町で行われるさまざまなイベントのお手伝いをしていると1年があっという間に感じます。

さて、私は町や観光協会のお手伝いで東京や大阪、福岡といった都市部で特産品フェアや移住定住の相談会にしばしば出向いています。他の市町村と合同で催事を行っているときにふと気がついたのが、「そういえば大津町のPRポスターってなかったな」という事です。「山鹿市の灯籠祭り」「天草市の海」「山都町の通潤橋」をテーマにした観光ポスターなどはとても分かりやすいですが、「大津の場合はこれ!」という風景や歴史的な建造物がなかなか見つけにくいのが難しい所です(もちろん、知れば知るほど自然や歴史の発見があるのが町の魅力ですが……)。

そこで今回、町の許可を貰って、協力隊の活動費を利用し、町内の出版社やアマチュアカメラマン、大津高校のアイディアと協力のもと、2枚のポスターを作成することができました。1枚は大津町の自然を表す白川の風景写真。もう1枚は町の未来に向けた若いパワーと歴史、そして特産物を1つに醸しだした人物写真です。

完成したら町外での催事などで町のPRに活用してもらいたいと思っています。また、町の皆さんにも見てもらえる場所に貼れた際は、意見や感想がもらえたらうれしいです。どうぞお楽しみに！



肥後大津駅北口でのポスター撮影風景